

事業等を推進します。

- (9) コミュニティ施設(自治会館等)を計画的に整備していきます。
- (10) 若者定住促進住宅の建設や団塊世代の受け入れに向け、北海道が提唱している「北の大地への移住促進事業」と連携するとともに公共及び民間の相互協力により定住化を進めていきます。
- (11) シーニックバイウェイ(町内を縦貫する国道234号線を中心軸とした沿道の景観と環境保全整備により観光創出に結びつけていく取組)を視野に入れた道東道インターチェンジ周辺の魅力づくりとして、ふるさとの景観を活かした賑わいエリア(ダム周辺・駅前周辺など)の整備による観光空間の創出を進めていきます。
- (12) 瑞穂ダム周辺の花公園化等の環境整備を促進するとともに、自然環境に配慮したグリーンダム構想の推進を展開しながら、それぞれの拠点としての機能連携を図ります。
- (13) 町の貴重な財産である「鶴の湯温泉」及び「ぬくもりの湯」の有効活用を図ります。
- (14) 安平町の新しいまちづくりのため、「笑顔・ほほえみ」をキーワードとした食品安全やコミュニティ運動などあらゆる分野における「笑顔ブランド」の創設を目指します。
- (15) 苫小牧東部地域に進出する企業をターゲットとした地理的条件の良い、新たな居住空間整備に向け、民間活力(PFI)などを活用して推進します。

2 元気あふれるまちづくり…(産業の振興と創出)

他府県では、徐々に景気回復の兆しが見られるようになってきていますが、道内においては依然厳しい経済状況が続く、さらに少子高齢化や人口の一極集中がこれに拍車をかけ、ますます地域産業に与える影響は大きいものとなっています。

このような状況下において、地域を守り活力を高めるためには雇用の創出や地域産業の振興などが急務であり、企業誘致活動の強化、特に軽工業の誘致活動による雇用の創出とそれと連動した人口の増加対策の強化や現在ある企業の振興と地域

産業の活性化を図るとともに、地域の資源や人材を活用した新しい地域産業起こしなどに積極的に取り組んでいきます。

主要施策

- (1) 農業用廃プラスチック適正処理に対する支援を行います。
- (2) 土壌診断並びに土づくり対策事業(緑肥導入)の実施により、安平町農作物等の「笑顔ブランド」化を推進していきます。
- (3) 夕張シューパロダムからの導水事業の早期完成を目指します。
- (4) 新規就農者促進対策として、「生活支援」や「土地取得」などの支援対策を検討していきます。また、「農業経営のスリム化」を図るため、町独自の農業未来塾「ルーキーズカレッジ」の開設により農業後継者対策を講じていきます。
- (5) 早来商店街の空き店舗活用とともに、中心市街地(両商店街)の活性化と、早来駅前公園などの整備検討を進めていきます。
- (6) 担い手の高齢化に伴う農作業受委託の組織化に向けた体制整備とともに、農業機械共同利用組織と支援助成制度の創設を目指します。
- (7) 町内にある臨時的な雇用情報について、住民に対し必要に応じ速やかに対応できる情報提供の仕組みづくりを検討していきます。
- (8) 高齢者などを対象とした「商店と郵便局と行政の3者連携」による商店街町内宅配サービスを検討します。
- (9) 産業クラスター等によるふるさと商品の開発と商品化に対する支援助成措置を検討していきま。また、農産物の「笑顔ブランド」化を進めるため、農家の契約栽培による特定作物の産地化を支援するとともに、食育と地産地消を推進していきます。
- (10) 天然ガスなど地域にあるエネルギー源の有効な活用方策について検討します。
- (11) 軽種馬産地としての知名度を高めるPRとともに、軽工業の誘致活動などによる雇用の創出と連携した人口増加施策を推進していきます。